

# 交通



詳しくはこちら

# 都市空間



詳しくはこちら



自分に合った移動手段で、気軽に出かけられるまち  
松山市駅前広場を整備

公共交通の乗り継ぎの利便性を高めたり、にぎわい空間の創出による中心市街地の活性化を促したりするため、1日約3万人の乗降客が行き交う松山市駅前を、新たに「交流広場」として整備し、「歩いて暮らせるまちづくり」を押し進めます。



市駅前広場完成予想図

松山外環状道路の整備

松山外環状道路は、主要な交通拠点である松山IC・松山空港・松山港と市内中心部から放射状に延びる国道を環状につなぐ高規格道路で、市内中心部の渋滞緩和や交通安全の確保、各拠点間のアクセス性を向上させるため国・県・市が協同で整備を進めています。この道路は地域活性化や広域連携の推進のほか、大規模災害時には、緊急輸送道路としても活用される重要な道路であるため、更なる整備を進めます。

路線バスに自動運転を全国で初導入

バス事業者の運転手不足や、バス路線の維持・確保という地域課題を解決する手段として期待される自動運転技術の導入に向け、事業者と連携して取り組んでいます。そうした中、令和6年12月から、伊予鉄バス(株)の既存路線である「観光港連絡バス(伊予鉄高浜駅〜松山観光港間)」の全区間で、特定条件の下、「進む」「止まる」「曲がる」の運転操作のすべての判断をシステムが行う「自動運転レベル4」での運行を開始しました。また、令和8年度は、松山環状線、道後・松山城線で「運転席無人」での本格運行開始を目指しています。

松山市では、こうした公共交通事業者の積極的な取り組みを支援し、事業者の運転手不足の解消や、公共交通の維持・確保に取り組んでいます。

都会と田舎の住みやすさが共存しているまち

中心市街地活性化

湊町三丁目C街区地区、一番町二丁目・歩行町一丁目地区の市街地再開発を支援するほか、いよぎん新本社ビル建替プロジェクトなど、「都市再生緊急整備地域」を活用して民間主導の都市開発を促し、魅力的な都市機能を高め、コンパクトシティを押し進めます。また、全国街路事業コンクールで最高位の国土交通大臣賞を受賞した花園町通りは、リニエアルした道路空間を有効に活用し、にぎわいを創り出しています。地元商店街などが日曜市や産直市を



一番町大街道口

定期的に開催するなど、市民や事業者などと協働でまちづくりを進めています。

JR松山駅周辺を整備

JR松山駅を中心に周辺整備を行っています。愛媛県が行うJR予讃線の高架化に合わせ、土地区画整理で土地を利用しやすくしたり、周辺の街路を整備したりしています。駅周辺では、広場の整備や路面電車の引き込み、西口駅前広場の新設など、安全で快適な空間づくりとともに、にぎわいを生み出します。また、広域交通拠点としての機能を強化するなど、県都松山の陸の玄関口にふさわしいエリアへと整備を進めています。



JR松山駅新駅舎